安全データシート

作成日　1996年12月16日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：Phenylhydrazine for synthesis

１．化学品及び会社情報

製品番号　：807250
製　品　名　：Phenylhydrazine for synthesis
製品和名　：フェニルヒドラジン 合成用
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	区分3
急性毒性（経皮）	:	区分3
急性毒性（吸入）	:	区分3
皮膚腐食性/刺激性	:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	区分2
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	区分2
発がん性	:	区分1B
特定標的臓器毒性（反復暴露）	:	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	:	区分1

シンボル

注意喚起語　　　危険

危険有害性情報

H301+H311+H331　飲み込んだり皮膚に接触したり吸入すると有毒
H315　皮膚刺激
H317　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319　強い眼刺激
H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ
H372　長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害
H400　水生生物に非常に強い毒性

注意書き

P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P273　環境への放出は避けること。
P281　指定された個人用保護具を使用すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P304+P340　吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P309+P310　ばく露した時または気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　　単一物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
フェニルヒドラジン	98%	$C_6H_5NHNH_2$	(3)-470	公表	100-63-0	202-873-5

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
直ちに医師の診察を受ける。
呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。
必要ならば、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
ポリエチレングリコール等の軟膏を塗布する。
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、最低10分間洗浄する。
直ちに眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
意識がある場合は少量の水を与える。
嘔吐を誘発させる。
直ちに医師の診察を受ける。
活性炭、10%懸濁液を服用させる。

５．火災時の措置

消火剤：
泡，粉末，炭酸ガス，水

特有の危険有害性：
可燃性物質
蒸気は、空気と混合して爆発性混合物を生成する可能性がある。
火災時に有害ガスを発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
窒息消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
蒸気を吸い込まないように注意する。
漏出物との接触を避ける。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：

吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。

保管：
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
換気装置を使用すること。

衛生対策：
眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
吸入を避ける。

その他：
適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。

９．物理的及び化学的性質

形　状	：	液体
色	：	赤褐色
臭　い	：	芳香臭
密　度	：	1.10
粘 性 率	：	17.1 mPa*s
蒸 気 圧	：	0.1 hPa
融　点	：	19.6℃
沸　点	：	244℃
引 火 点	：	88℃
自然発火点	：	195℃
爆発限界	：	下限　データなし 上限　データなし
溶 解 性	：	水に溶ける。

１０．安定性及び反応性

反応性：
加熱により、有害な蒸気またはガスを生成する。
熱により発生する蒸気またはガスは、空気と混合し爆発性混合物を生成する。

危険有害反応可能性：
反応するおそれ:
強酸化剤
反応するおそれ:
ハロゲン化炭化水素

１１．有害性情報

急性毒性：
LD50(oral/rat)　:　188.0mg/Kg

皮膚に付着、目に入った場合：
眼や皮膚を刺激する。
皮膚から吸収されるおそれがある。
皮膚に触れると感作のおそれがある。
角膜混濁のおそれがある。

吸入した場合：
データなし。

吸収された場合：
頭痛を伴ったメトヘモグロビン血症、心臓不整脈、低血圧、呼吸停止、痙攣を引きおこす。
チアノーゼをおこす。

飲み込んだ場合：
データなし。

遺伝毒性等：
変異原性が確認されている。
動物実験において、発がん性が確認されている。

その他の有害性：
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。

１２．環境影響情報

残留性・分解性：
生分解性がある。

生体蓄積性：
蓄積性は見られない。

その他：
水生生物に有毒。
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号　:　2572
品名　:　PHENYLHYDRAZINE
クラス　:　6.1/II

国内規制：
消防法：第四類 第三石油類　Ⅲ　非水溶性

作成日　1996年12月16日
改訂日　2014年01月30日

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

消防法：第四類 第三石油類　 Ⅲ　 非水溶性

フェニルヒドラジン
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：第1種指定化学物質　 政令番号：345
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質

１６．その他の情報